

太宰府市議会 議員有志から市民の皆様へ

芦刈 茂・上 彊・門田 直樹・神武 綾・橋本 健・長谷川 公成・
原田 久美子・藤井 雅之・村山 弘行・渡邊 美穂

総合体育館建設 関連予算減額の理由

私たちは、本年 3 月議会で、総合体育館の実施設計予算 5700 万円を 2000 万円とする減額修正案に賛成いたしました。なぜ修正案を提出し賛成したのか、その理由を市民の皆様にご報告する義務があると考え、このチラシを作成し、配布しております。

これまでの経緯

過去 10 年以上の間総合体育館建設に向けて、行政側では、市民アンケート・審議会において協議などを行い、議会では、建設要望の請願が全会一致で採択されています。これらを受けて平成 23 年第 5 次総合計画の実施計画の中に、平成 26 年度中に総工費約 18 億円で完成予定と明記され、同年調査研究が始まり、市民代表による総合体育館建設調査研究委員会が設置、4 回の協議が行われています。そして今回平成 24 年度当初予算に実施設計予算 5700 万円が計上されました。

議会へ正式に発表された情報

- (1) 候補地として 3 ヶ所が選出され、看護学校跡地を第一候補地として選定
- (2) 防災備蓄や広域避難場所、また福祉関連施設を包合した複合型総合体育館
- (3) 駐車場は普通車 300 台、大型バス 10 台程度を収容できる規模
- (4) 平成 26 年度中に完成予定。総工費は約 18 億円

情報に対する疑問

- (1) 看護学校跡地周辺は市街化調整区域で、今後区画整理が予定されている。もし区画整理が実施されれば、換地、道の新設や拡幅が考えられるが、佐野東地区のまちづくりは、今後どうする予定なのか。また、洗出交差点付近は日常的に渋滞が発生しており、その解決方法や交通問題についてどのように考えているのか。

(裏面に続く)

- (2) 本市で起きる自然災害のほとんどは、大雨によるものだが、御笠川流域の看護学校跡地が広域避難場所として、本当に機能できるのか。また、それ以外の候補地は山の上にあり、広域避難場所としては適所とは言えない。
- (3) 看護学校跡地以外の候補地は、土地の広さは十分だが、看護学校跡地の場合、この規模の駐車場を確保する事は困難であり、周辺の土地を買い上げる予定なのか。それは具体的にどのような計画なのか。
- (4) 多くの課題があったからこそ長年にわたる懸案事項となっていた。3.11 大災害以降、いわゆる箱モノに対する市民の意識も変わってきている中、何故平成 26 年度中の完成を急ぐのか。また、土地の買収なども含めて総工費が 18 億円なのか。

予定では市民の皆様の税金を 18 億円以上使って建設し、毎年恐らく数千万円から 1 億円程度の維持費がかかる事が予想される体育館です。平成 23 年度に計画が発表されて以来、議会において上記の内容を含む質問が幾度となく繰り返されてきましたが、執行部は「建設場所が未定の為、回答できない。」という趣旨の答弁でした。

減額修正した理由

- 建設場所も未定のまま、5700 万円の実施設計予算を承認する事は、建設場所や規模・内容についてなど、議会で議論する余地もなく全て行政主導になりかねない
- 維持費がどの程度かかるのか説明がない
- 稼働率がどの程度見込んでいるのか、説明がない
- 起債（借金）額やその後の返済計画、維持費を含めた財政計画について説明がない

以上のような理由から、基本設計を基に議会において市民の皆様の御意見もお伺いしながら、十分議論を尽くす為に、基本設計分 2000 万円を確保した減額修正であり、体育館建設に反対したものではありません。

これからの方向

私たち減額修正に賛成した議員は、体育施設利用者の皆様や建設予定地周辺の市民の皆様方を始め、多くの市民の皆様のご意見を伺い、財政的な問題も含めて三月議会で設置された「総合体育館建設問題特別委員会」で十分議論していきたいと思っています。

＜このチラシに関するお問い合わせ・連絡先＞

代表世話人：村山 弘行 太宰府市長浦台 1-6-8 TEL：924-2475